

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和6年度第2回桶川市文化財保護審議会	
開催日時	令和7年1月27日（月） （開会）午前10時00分（閉会）午後0時05分	
開催場所	川田谷公民館 視聴覚ホール	
主宰者の氏名	桶川市教育委員会	
議長の氏名	天沼律子	
出席者氏名 （委員）	天沼律子、林宏一、島村等、板垣時夫、村田章人、吉田元	
欠席者氏名 （委員）	重田正夫	
説明員氏名	藤沼課長、山田主査、酒井主事、飯塚主事、林主事	
事務局職員 職名及び氏名	教育部 文化財課	島田部長 藤沼課長、山田主査、酒井主事、飯塚主事 林主事
会 議 事 項	議 題	(1) 令和6年度文化財保護事業及び歴史民俗資料館事業の事業報告について
	決定事項等	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 桶川市文化財保護審議会委員名簿 ・ 会議資料 ・ 歴史民俗資料館パンフレット ・ 文化財だより（第148号） 	

会議録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	内 容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>桶川市文化財保護審議会規則第6条第2項に基づき、委員7名中6名出席により会議が成立する旨の報告</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 教育部長挨拶</p> <p>4. 議事</p> <p>傍聴人なしの報告</p> <p>(1) 令和6年度文化財保護事業及び歴史民俗資料館事業の事業報告について</p>
事務局	資料に基づき、令和6年度文化財保護事業の事業報告について、事務局が説明を行う。
会 長	質疑に入らせていただきます。
委 員	大山灯籠行事についてですが、木製の灯籠の場合は、竿の部分に奉納者や年代など墨書が記載されていることがあるので、漏れがないよう見ていただきたいと思います。石塔についても、年号などの銘文を記録しておいてください。また、獅子舞の笛の記録映像ですが、各所作の笛の指の運びと獅子の動きが同時にわかるような編集をしていただくとよいと思います。
事務局	今回は急な取り組みであったため指先を主とした撮影になりましたが、今後は獅子の動きも併せた映像づくりに取り組んでまいりたいと思います。
委 員	個人が所有している古文書は、その所在が不明となることがあるので定期的に確認をすることが大切ですが、市に寄託をしてもらうなどの方法は取れないでしょうか。
事務局	どのお宅も大事なものとして保管をしていただいておりますが、中には市に預けたいという意向の方もいらっしゃいました。今回は自宅で管理する場合の注意点などのほか、寄託のお話もさせていただきましたので、今後は、その意向に沿って話が進むものもあるかと思えます。
委 員	田鱒野 I 遺跡の発掘調査はその一部ということですが、まだ

	<p>ほかに広がっている状況が推察されるのですか。</p>
事務局	<p>掘立柱建物跡が調査区外に伸びていることから、遺跡の規模は更に広がるのではないかと考えられます。また、前年度以前に実施した試掘調査の結果からも濃密な遺構群が確認されているので、遺跡の規模としては大きいものかと思われま</p>
委員	<p>今後いろいろな情報を集めて、この遺跡の評価につなげていただきたいと思います。</p> <p>大山灯籠の設置箇所は桶川市内ではまだあるのですか。</p>
事務局	<p>市内の設置状況は12か所ですべてだと思われま</p>
委員	<p>桶川市内でまだこれだけの数が残っていることは貴重なことなので、今後無形文化財としての保護を考えてもよいのではないかと思うので、引き続き調査を行っていただきたいと思います。</p> <p>民俗芸能の交付金ですが、岡村の万作は後継者がいなくなったため対象外になったということですか。</p>
事務局	<p>会員の高齢化により活動が難しくなり、保存会自体は解散していないようですが、活動を休止したとのこと</p>
会長	<p>大山灯籠は、川田谷や加納地区では見られますが、町場では見られないのはなぜ</p>
委員	<p>大山講が詣でる大山阿夫利神社は雨を降らせる農耕の神様なので、その多くが農村部で信仰されているため、町場ではあまり見かけません。現在、さいたま市の大山灯籠の調査をしていますが、さいたま市内で10か所くらいです。そのことから桶川市の大山灯籠行事は桶川市の信仰行事の中でも特徴的なものと考えられるので、指定や登録などの保護について検討をいただくとよいと思</p>
委員	<p>下日出谷の大山灯籠は、現在は自治会館に設置されていますが、以前は県道沿いに設置されていました。移設された理由はわかりませんが、本来設置されていた場所が特定できれば、そのことも記録をしておく</p>
委員	<p>田鱒野Ⅰ遺跡は、調査範囲は狭いですが出土品の内容が濃く、たいへん興味深い遺跡です。綾瀬川流域では古代の重要な遺跡が見つかっており、この遺跡も記録保存の調査事例があまりないことから、注意が必要な遺跡だと思</p>

委員	矢部家住宅ですが、漆喰を使ったのはどの辺りでしょうか。
委員	瓦の下、垂木との間になります。
委員	田鱒野 I 遺跡は、学術調査は可能ですか。
委員	関係者の理解など体制整備ができれば、法律的には可能です。
会長	この地区は、住宅が建て込んでいる地区ですか。
事務局	倉田地区は、市街化調整区域のため畑が多い地区なので、学術調査ができる環境にはあると思います。
会長	今後の調査の予定はありますか。
事務局	取り急ぎは整理作業を通して、この遺跡の性格を整理していきます。今後追加で調査が必要になった場合には、関係者と調整をしていきたいと思っています。
委員	平安時代のいつ頃と考えていますか。
事務局	出土した須恵器の年代から 10 世紀頃だと考えられます。
委員	現在この辺りは畑ですか。
事務局	主に畑です。
委員	深掘りされるような耕作はされていませんか。
事務局	されていません。遺構が確認された面までの深さが 50 センチくらいで、あまり削られていなかったのが畑の下は良好な状態で残っていると思われま。
会長	優先順位を上げて調査をする必要はありませんか。
事務局	貴重な遺跡が存在する可能性はありますが、当面はこの遺跡が壊されるようなおそれがないことから、現時点では現状保存として、今後開発行為などがあつた際に改めて調査を行いたいと思っています。
委員	川田谷地区では大手の農業ファームが土地を借り上げて耕作する際に、深さ 1.5 メートルくらいまで天地返しを行う場合があります。遺跡がある場所でそのような行為を行う場合には市に報告を要する仕組みを作っていくことが必要だと思いま。

事務局	遺跡がある場所で土木工事を行う際には、事前に届出や協議が必要であることを広く周知することが当面の対策かと思えます。
委員	田鱒野 I 遺跡は包蔵地に入っていますか。
事務局	元々包蔵地には入っていますが、当初の区域より外に広がっていることがわかったので、変更増補により包蔵地を広げる手続きを行いました。
会長	先日、O K E G A W A h o n + 講座に参加しましたが、近隣 5 市町の話が聞けたことと、参加者が講師と同じ目線だったので親近感を持って聞けたことで、とてもよいプログラムだったと思います。これからも同様の企画を続けてほしいと思います。
事務局	資料に基づき、令和 6 年度歴史民俗資料館事業の事業報告について、事務局が説明を行う。
会長	質疑に入らせていただきます。
委員	夏休み子ども講座で使用したどんぐりの種類を教えてください。
事務局	今回は、あく抜きをしないで調理ができるという理由で椎の木を使用しました。
委員	青木家文書と加藤貴一家文書については、古文書専門の委員にも報告をして、調査を進めてください。また、途中になっている武村徳松氏の水彩画についても、指定に向けた調査を続けていきたいと思えます。
委員	力石の拓本はどのような方が作成したのですか。また、収蔵事業の中の加納村郷土誌稿は原本ですか。
事務局	力石の拓本は元々稲荷神社に奉納されていたもので、社務所の建替えに伴う整理の際に市に寄贈されたものです。加納村郷土誌稿は明治 4 5 年に加納村の先生方が記された郷土史稿で、原本になります。加納小学校の教員をされていたお宅から出てきたもので本来は学校史料と思われそうですが、個人所有ということで寄贈されました。市史のような構成で、自然や村、方言などが記されていて郷土資料としてたいへん貴重なものなので、今後活用をしていきたいと思えます。
委員	加納村郷土誌稿は、市史などのこれまでの刊行物では、まだ紹介されていない史料ですか。

事務局	今回初めて見つかったものです。
委員	明治から大正期に学校の先生が郷土史を作る運動が盛んにありましたが、当時の地域の状況がわかり、たいへん貴重なものなので、何らかの形で多くの方が見られるようにしてもらおうとよいと思います。
委員	活字は何ですか。
事務局	先生方の手書きで、担当ごとに分担して書かれています。
委員	力石拓本は心得があるひとが作成したのですか。
事務局	よくわかっていないので、改めてお聞きしてみます。
会長	拓本は湿拓ですか、乾拓ですか。
事務局	湿拓でとられています。
委員	入館者数も以前と比較して増えていますが、今後は道の駅との連携により更に期待できるので、よい時期にリニューアルされたと思います。また、夏休みは子どもたちも忙しく、無料の企業イベントなどもあるので、なかなか講座に集まらないかもしれませんが、どのようにして興味のある子どもたちを集めるかが課題になると思います。
	【議事終了】
事務局	5. その他 道の駅「べに花の郷おけがわ」の開業、川田谷生涯学習センター外構工事の完了、3月開催の企画展示について、説明を行う。
事務局	6. 閉会